

終了しました

亀山郁夫講演会

名古屋外国語大学学長

黙過と想像力 私のロシア文学60年

要事前申込

先着順

2025年 3/1 土

14:00～16:45 (開場 13:30)

講演会(前半) 質疑応答 14:00～15:00

講演会(後半) 質疑応答 15:15～16:15

フリートーク、意見交換 16:15～16:45

※講演予定時間 100分

PROFILE

亀山 郁夫 (かめやま いくお)

1949年、栃木県宇都宮市生まれ。名古屋外国語大学学長。ロシア文学者。東京外国語大学外国語学部ロシア語学科卒業、東京大学大学院博士課程単位取得退学。元東京外国語大学学長。日本芸術院会員。

2002年に「磔のロシアースターリンと芸術家たち」(岩波書店)で大佛次郎賞、2007年に翻訳「カラマーゾフの兄弟」(光文社古典新訳文庫)で毎日出版文化賞特別賞、プーシキン賞を受賞。2012年には「謎解き『悪霊』」(新潮選書)で読売文学賞を受賞、2021年には、「ドストエフスキーの星」メダルを受章、2024年には、日本ロシア文学会大賞を受賞。長く、NHKテレビロシア語会話を担当し、その後、『100分de名著』『プロファイラー』などのテレビ番組に出演した。

専門は、ロシア文学・ロシア文化論。著書としては、「甦るフレーブニコフ」(晶文社、平凡社ライブラリー)、「ロシア・アヴァンギャルド」(岩波新書)、「破滅のマヤコフスキー」(筑摩書房)、「熱狂とユーフォリア」(平凡社)、「ドストエフスキー 父殺しの文学」(NHK出版)、「シヨスタコーヴィチ 引き裂かれた栄光」(岩波書店)、「ドストエフスキー 黒の言葉」(集英社新書)、「終末と革命のロシアルネサンス」(大審問官スターリン)、「ドストエフスキーとの旅」(いずれも岩波現代文庫)他多数。主な翻訳として、ドストエフスキーの五大長編(「罪と罰」「白痴」「悪霊」「賭博者」「未成年)「カラマーゾフの兄弟」がある。なお、2015年には、自身初となる小説「新カラマーゾフの兄弟」を刊行した。

会場 公益財団法人 国際文化会館 2階講堂
東京都港区六本木5丁目1-1-16

対象 日本・ロシア協会会員
一般(会員同伴者、関係者)

定員 45名

会費 日ロ協会会員 2,000円
(日ロ協会会員登録・年会費納入者)
一般(会員同伴者、関係者他) 3,000円
学生 2,000円

締切日 2月27日(木) 17:00
定員になりましたら、締切日前でも申込みを終了させていただきます。ご了承ください。

申込方法 別紙申込書にご記入の上、FAXまたはメールでお申込ください。